

心不全ってどんな病気？ 心不全とうまく付き合う ためにできること

Q1 心不全とはどのような病気ですか？

心不全は「心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」です。心筋梗塞や弁膜症、不整脈、高血圧などの病気が原因で心臓に負担がかかり、限界を超えるとポンプの機能を果たせなくなり症状が現れます。心不全の5年生存率は一部のがんに匹敵するほど悪く、決して甘く見てはいけない重大な病気です。

Q2 心不全はどのように進行するのでしょうか？

注意の「黄信号」と、命の危険がある「赤信号」があります。黄信号は、靴下の跡が消えないような足のむくみや、数日での2〜3kgの急激な体重増加です。赤信号は、夜横になると息苦しく、起き上がって座ると楽になる「起坐呼吸」という症状です。赤信号の

Q3 悪化にいち早く気づくためのサインはありますか？

心不全は良くなったり悪くなったりを繰り返しながら、階段を下りるように徐々に進行していきます。心不全は放っておいて治る病気ではありません。悪化の回数をできるだけ減らし、進行を抑えることが治療の目標となります。

Q4 心不全と診断されたときに気を付けることは何ですか？

症状があれば、我慢せずにすぐに病院を受診してください。日々の体重や血圧を記録することが早期発見に繋がります。

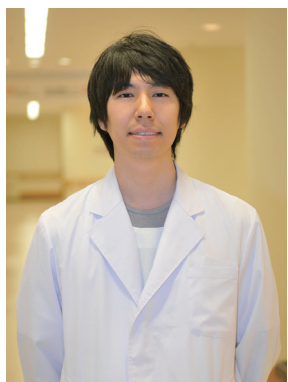
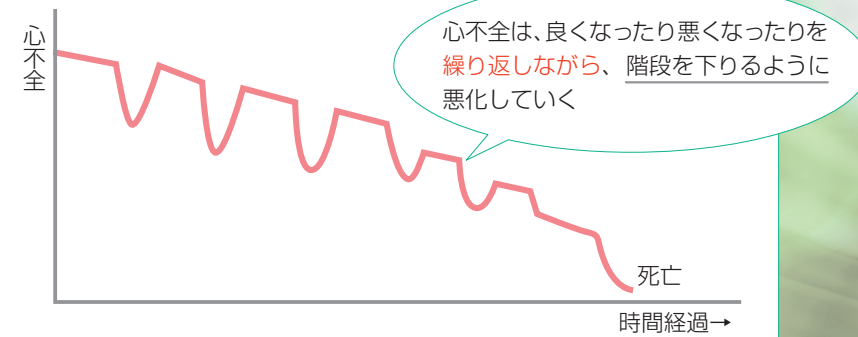
Q5 お薬や食事で特に気を付けることはありますか？

心不全治療薬の効果はご自身で自覚しにくいですが、自己判断で飲むのをやめないでください。食事は「塩分制限」と「3食しっかり

Q6 地域でのサポート体制について教えてください。

岐阜市では「あゆみ心不全ネット」という心不全地域連携パスが始まっています。専門的な治療や詳しい検査は大きな病院で行い、日常の管理はかかりつけ医で行う仕組みです。患者さんの情報を共有し、地域全体が一つの大きな病院のように皆さんを支えていますので、安心してかかりつけ医への通院を続けることができます。

■ 心不全の経過



今月の先生

岐阜市民病院 循環器内科、内科一般

佐竹 敦史

○**役職**
循環器内科副部長
地域連携部副部長
緩和医療センター副センター長
循環器病センター循環器病相談室長

○**主な資格、認定**
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・
研修医指導医

日本循環器学会循環器専門医・指導医
日本心血管インターベンション治療学会 認定医
腹部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医
胸部大動脈瘤ステントグラフト実施医・指導医
植込み型除細動器 (ICD) / ペーシングによる
心不全治療 (CRT) 研修修了医

定期開催「岐阜市民病院公開講座」の講演動画を、岐阜市公式YouTubeチャンネルで公開中！
佐竹 敦史医師他による「心不全」に関する動画を只今公開しています。詳しくは、岐阜市民病院ホームページをご確認ください。



岐阜市民病院ホームページ「市民公開講座の動画」のページ